

鮎崎港、大西港、木江港(広島県大崎上島町) みなと振興計画概要図 「大崎上島アクセス快適化計画」

計画の概要
 大崎上島町にとって島外への交通は海上輸送に限られるが、島内交通との連絡が十分ではなく広域化する住民生活への対応や島内外の交流人口増大のため公共交通の維持・拡充が求められている。また、少子高齢化の進展や基幹産業の停滞により地域の活力は低下しており、自立に向けた元気な産業づくりのため、観光振興との連携を軸とした地場産業の新たな展開や、新産業の育成など様々な取組みが実施されている。大崎上島町では「大崎上島交通問題協議会」を設置し交通に対する課題を継続的に協議し、これまでに利用者のニーズにあったダイヤの改正、島内バス路線の充実など種々の取組みを行っている。さらに、島内外交通の連携強化、島内光ファイバ網を活用した島内外の交通情報一元化や各種情報発信を行い、魅力ある総合的な港づくりによって地域の自立的な発展を目指す。

目標	離島航路の利用環境と島内交通環境を併せた利便性の向上を図り、広域化する住民生活への対応、島内外の交流人口の増大による地域の活力向上を目指す。	代表的な指標	交流人口の増加 (千人/年)	112 (H16年度)	120 (H24年度)
			公共交通に対する住民の不満度 (%)	52.8 (H16年度)	30 (H24年度)

【大西港】
 基幹事業
 係留施設(浮棧橋)
 港湾環境整備施設(緑地)
 提案事業
 情報案内板

【高速船旅客上屋】
 ・交通結節点としての機能強化

【鮎崎港】
 基幹事業
 係留施設(浮棧橋)
 臨港交通施設(駐車場)
 港湾環境整備施設(緑地)
 提案事業
 高速船旅客上屋
 情報案内板

【情報案内板】
 ・各ターミナルの連携強化
 ・陸上交通と海上交通の連携強化
 ・島内の情報発信

【木江港】
 基幹事業
 係留施設(浮棧橋)
 提案事業
 情報案内板

1. 地域の現状
 ・少子高齢化の急激な進展
 ・地域の経済を支えた基幹産業の停滞
地域の活力が大きく低下

2. まちづくりの主要課題
 ・過疎化による人口減少と少子高齢化への対応
 ・経済基盤の確保(新たな産業の育成)
 ・地理的条件の克服

3. 計画目標
離島航路の利用環境と島内交通環境を併せた利便性の向上を図り、広域化する住民生活への対応、島内外の交流人口の増大による地域の活力向上を目指す

目標を達成するための地域の工夫による事業(提案事業)
 ・島内のIT基盤を活用した **情報案内板** の設置
 ・ **高速船旅客上屋** の設置

提案事業の実施による効果
 ・既存の施設を最大限有効的に活用が可能
投資コストの削減、効果の早期発現
 ・交通利便性の大幅な向上
来島者の増加による地域経済の活性化